

後期基本計画の策定に当たって



本市は、平成29年3月に「第2次亀山市総合計画（グリーンプラン2025）」を策定し、計画の目指す姿である将来都市像に「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」を掲げ、「まち」も「ひと」も健康で、持続的に発展し続けられる「健康都市」に向けたまちづくりを展開してまいりました。

この間、本市の中心的都市拠点であるJR亀山駅周辺のにぎわい再生と都市機能の向上に向けた市街地再開発の推進や、かめやま健康マイレージ事業等を通じた健康寿命延伸への取り組み、鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例の制定、鈴鹿関跡の国史跡指定など、財政健全性を確保しつつ、積極的な施策推進を図ってまいりました。

一方、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、未曾有の感染症のショックと、それに伴う予期せぬ環境変化や健康面等でのストレス、不安定な社会経済活動に直面し、まちづくりを支える様々な分野において影響が生じています。

また、こうした社会的背景の中で、DXによるスマート社会への動きが加速度的に進行するとともに、カーボンニュートラルによる脱炭素社会の実現に向けた取り組みの加速化や、持続可能な開発目標（SDGs）への関心の高まりなど、社会構造の変化が見られています。

本計画では、こうした不確実性の時代においても、将来都市像の実現に向けたまちづくりを一層推進していくため、重点的かつ分野横断的に取り組む4つのプロジェクトを位置付けるとともに、330の施策を掲げております。

本市のまちづくりの基本方針「市民力・地域力が輝くまちづくり」の下、ポストコロナ時代のニューノーマルを見据えた、しなやかな地域社会への転換、真の健康都市への深化を図ってまいりますので、市民の皆様のおなご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、熱心にご審議いただきました亀山市総合計画審議会の皆様をはじめ、貴重なご意見・ご提言をいただきました議会ならびに市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和4年6月

亀山市長

櫻井義之